

症例 3 解説

解答

腺房細胞癌
(Acinic cell carcinoma)

症例 3

症 例 : 60歳代, 男性

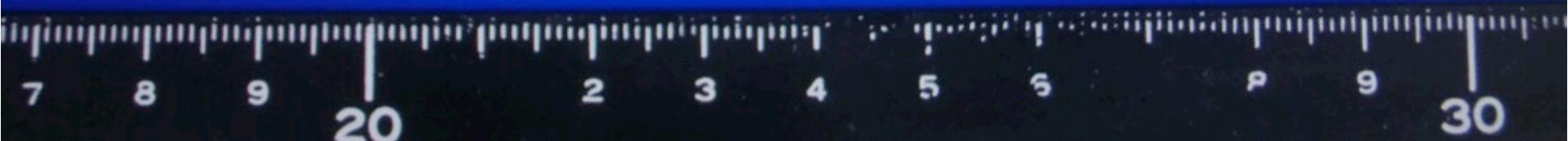
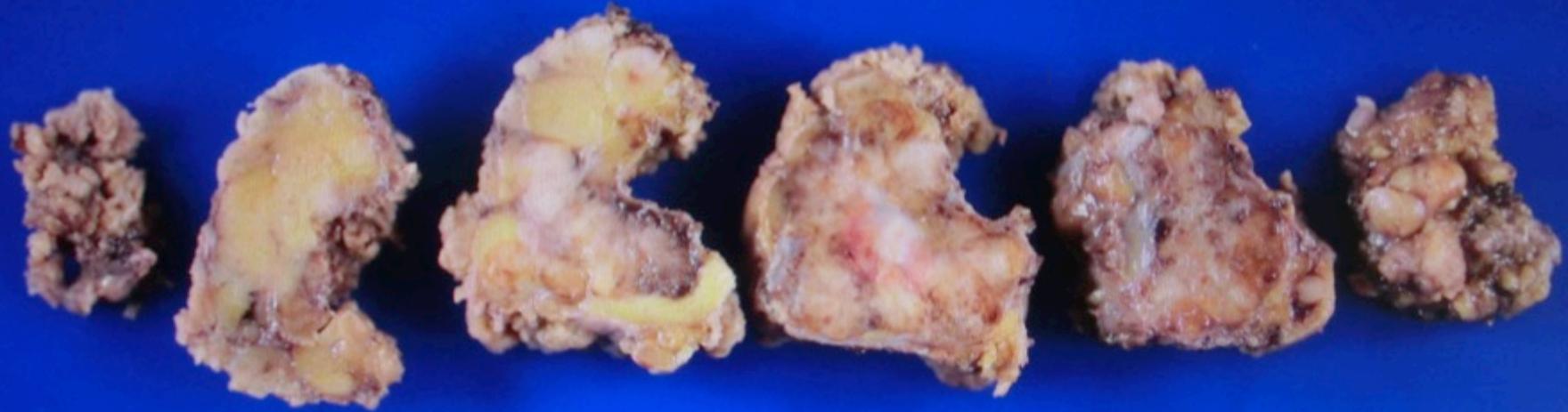
臨床所見 : 左頸部腫脹

採取部位 : 左耳下腺

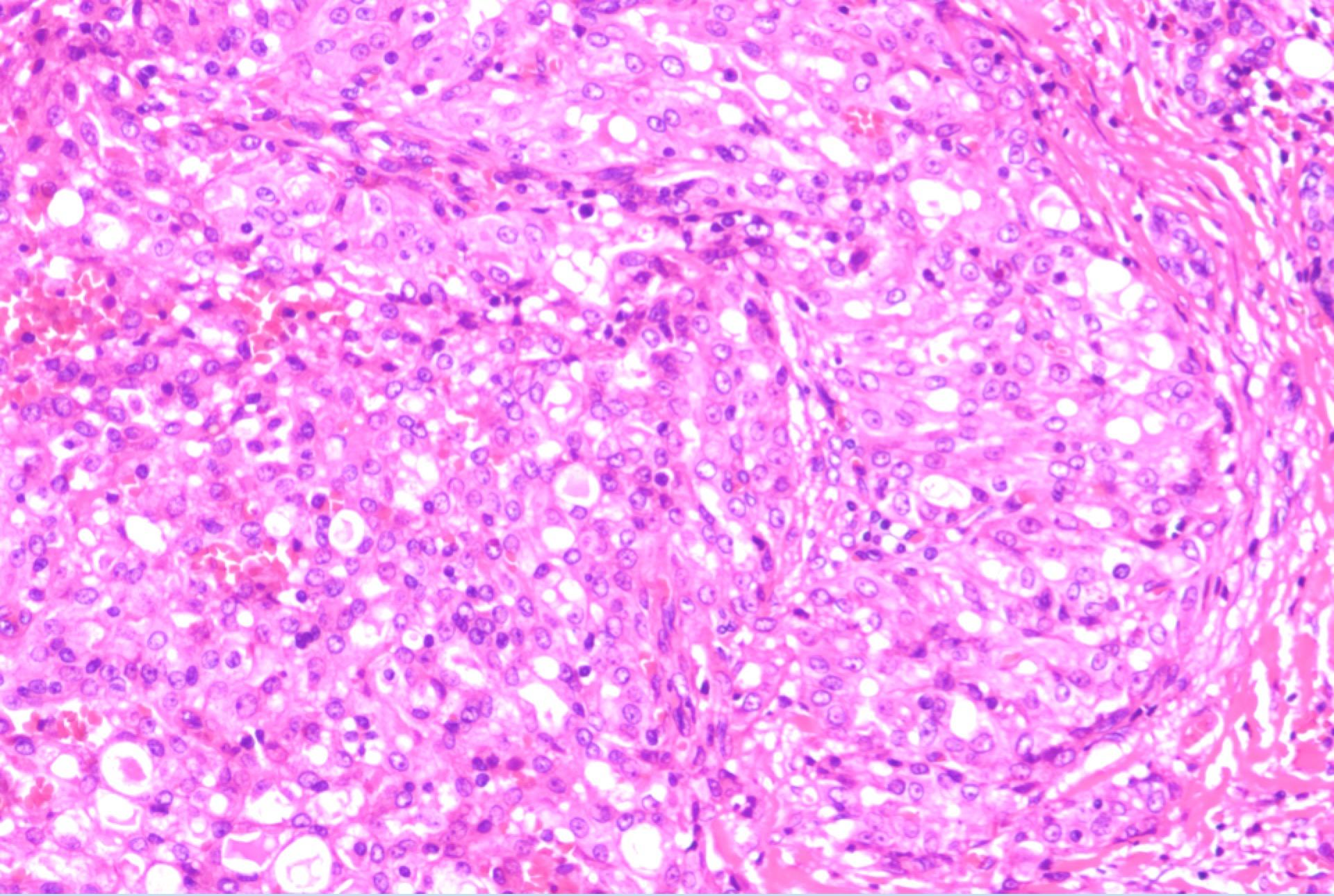
採 取 法 : 穿刺吸引細胞診

腺房細胞癌 (Acinic cell carcinoma)

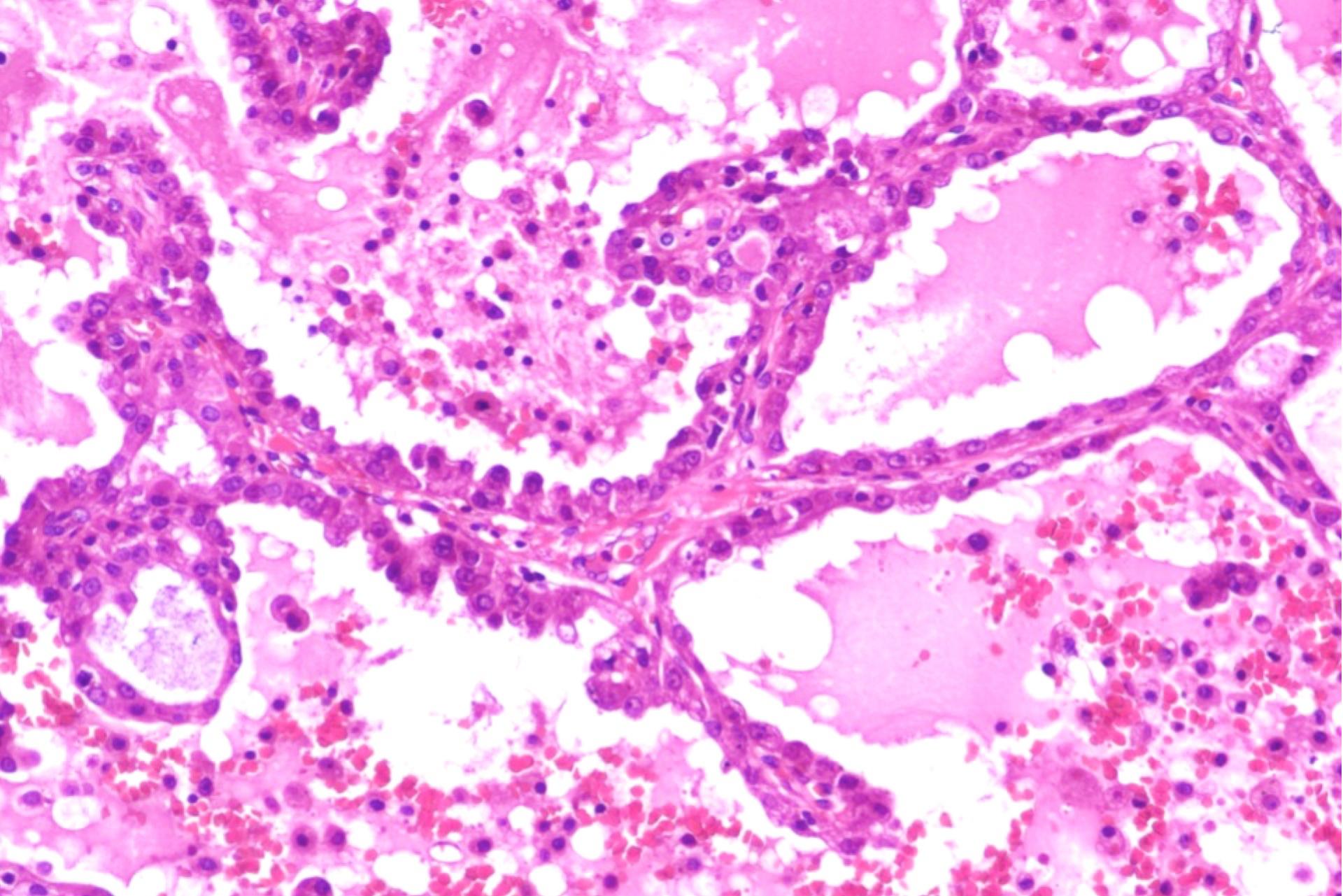
- ・ 細胞質内にチモーゲン顆粒を有し、漿液性腺房への分化を示す低悪性度腫瘍である。
- ・ 全唾液腺腫瘍の約9%を占め、80%が耳下腺に発生する。
- ・ 20～70歳代と幅広い年齢層に発生する。
- ・ 一般的に生命予後が良好な腫瘍である。



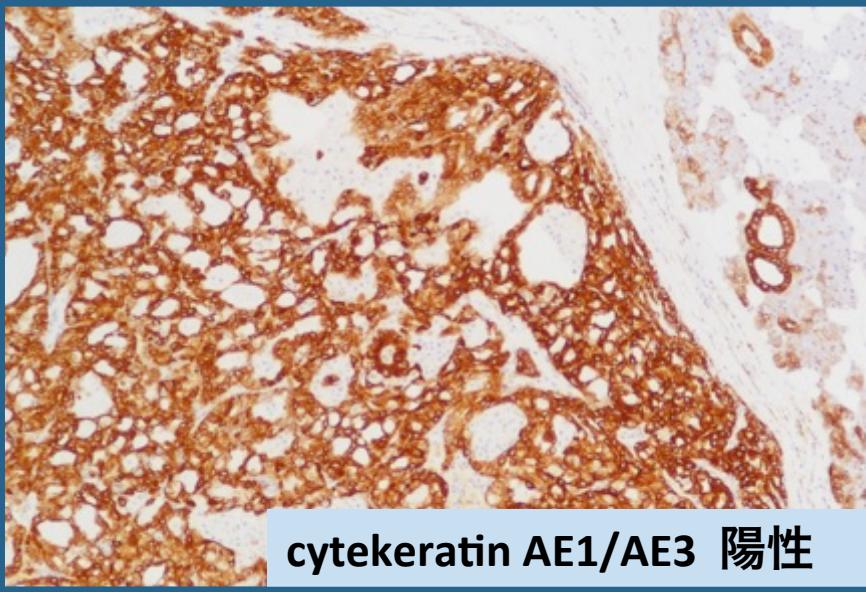
径20×16mm大の黄白色調の充実性腫瘍を認める。



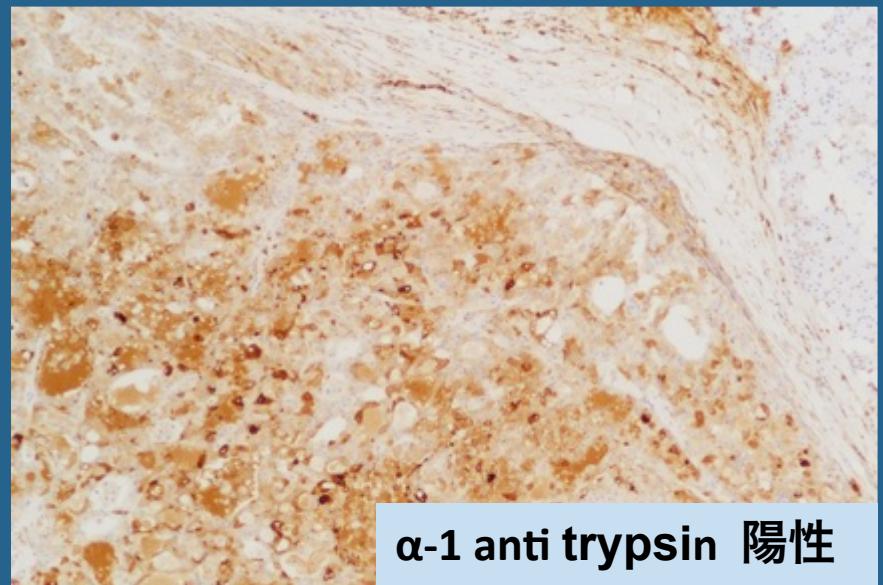
腫瘍細胞が微小囊胞状増殖を呈し浸潤、増殖している。細胞質は泡沫状および空胞状を呈する。
(微小囊胞型:microcystic pattern部分)



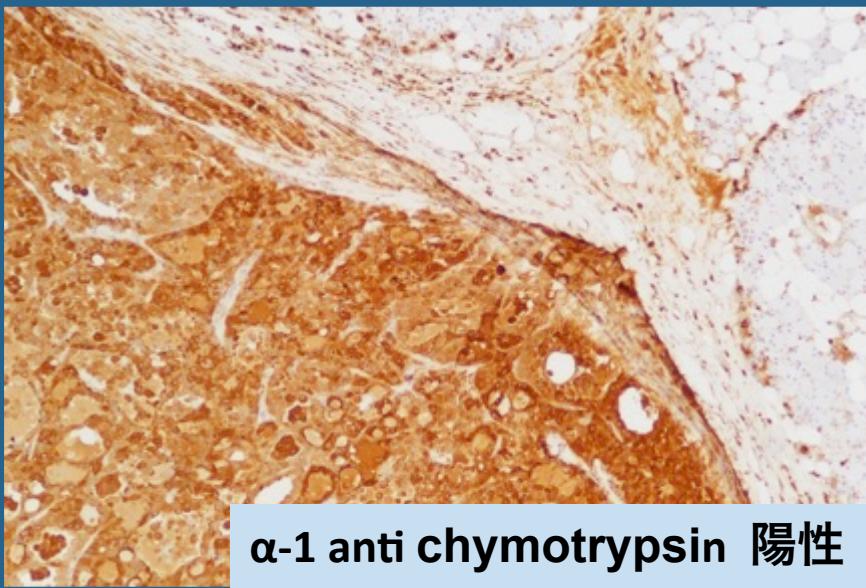
明瞭な核小体、淡い細胞質を有する腫瘍細胞が細血管、間質を伴った乳頭状構造を呈し増殖している。
(乳頭囊胞型 : papillary-cystic pattern部分)



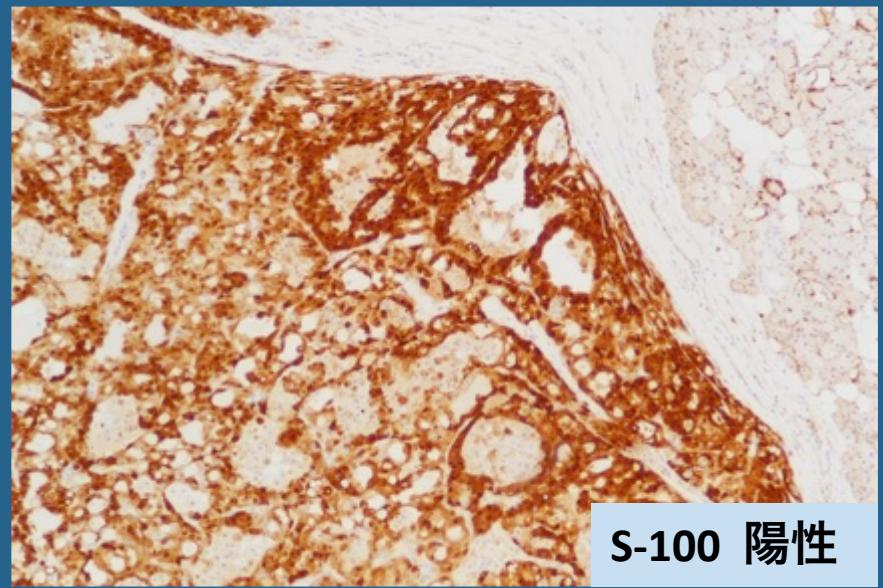
cytokeratin AE1/AE3 陽性



α -1 anti trypsin 陽性



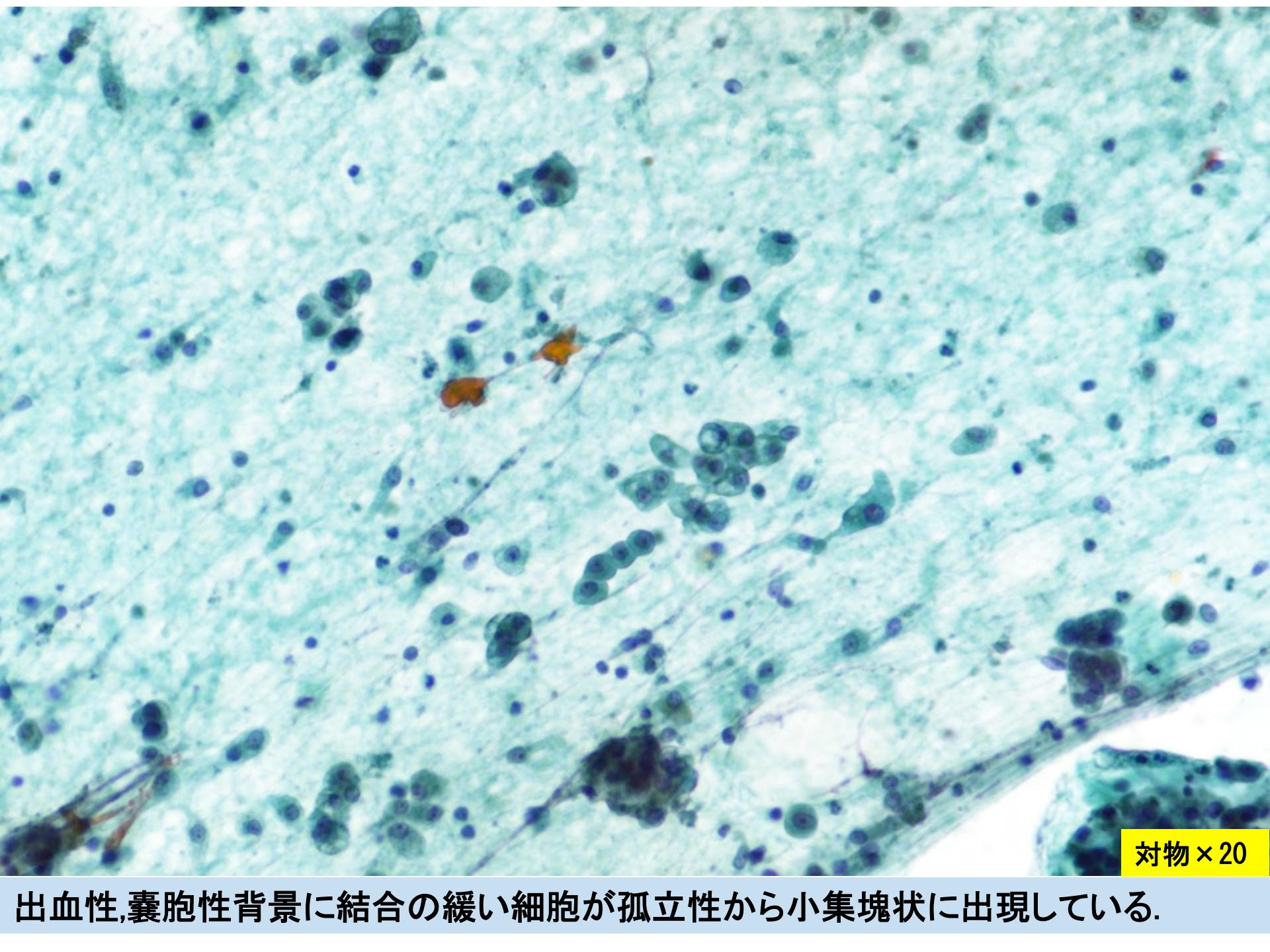
α -1 anti chymotrypsin 陽性



S-100 陽性

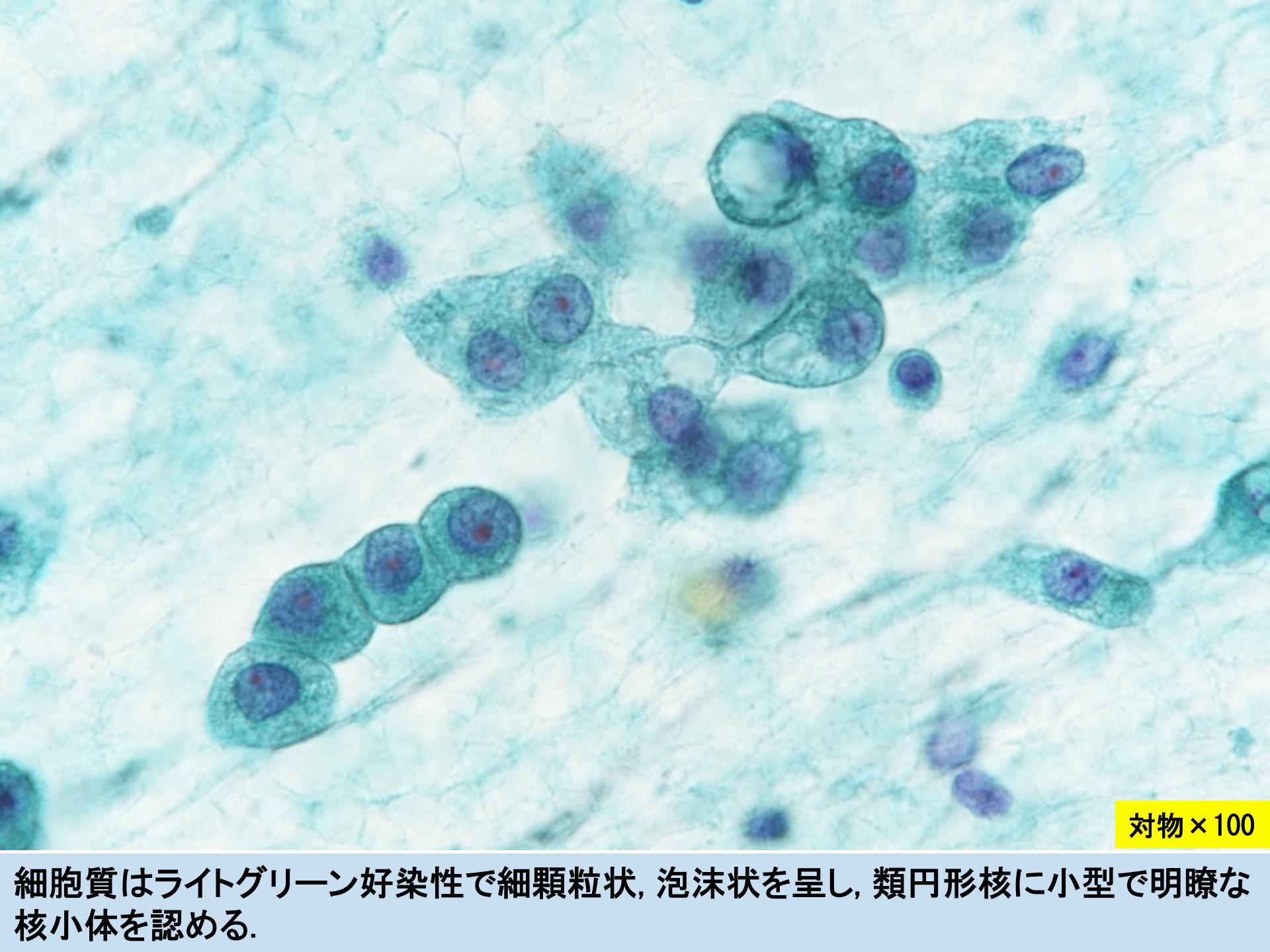
組織学的診斷

腺房細胞癌(acinic cell carcinoma)

A light micrograph showing a tissue sample. The background is a pale greenish-blue color, indicating a hemorrhagic or囊胞性 (cystic) background. Within this background, there are numerous small, dark blue-stained nuclei of individual cells, some appearing isolated and others in small groups. A few larger, more prominent clusters of nuclei are visible, particularly towards the bottom right. Some red-stained areas, likely representing blood vessels or hemorrhage, are also present.

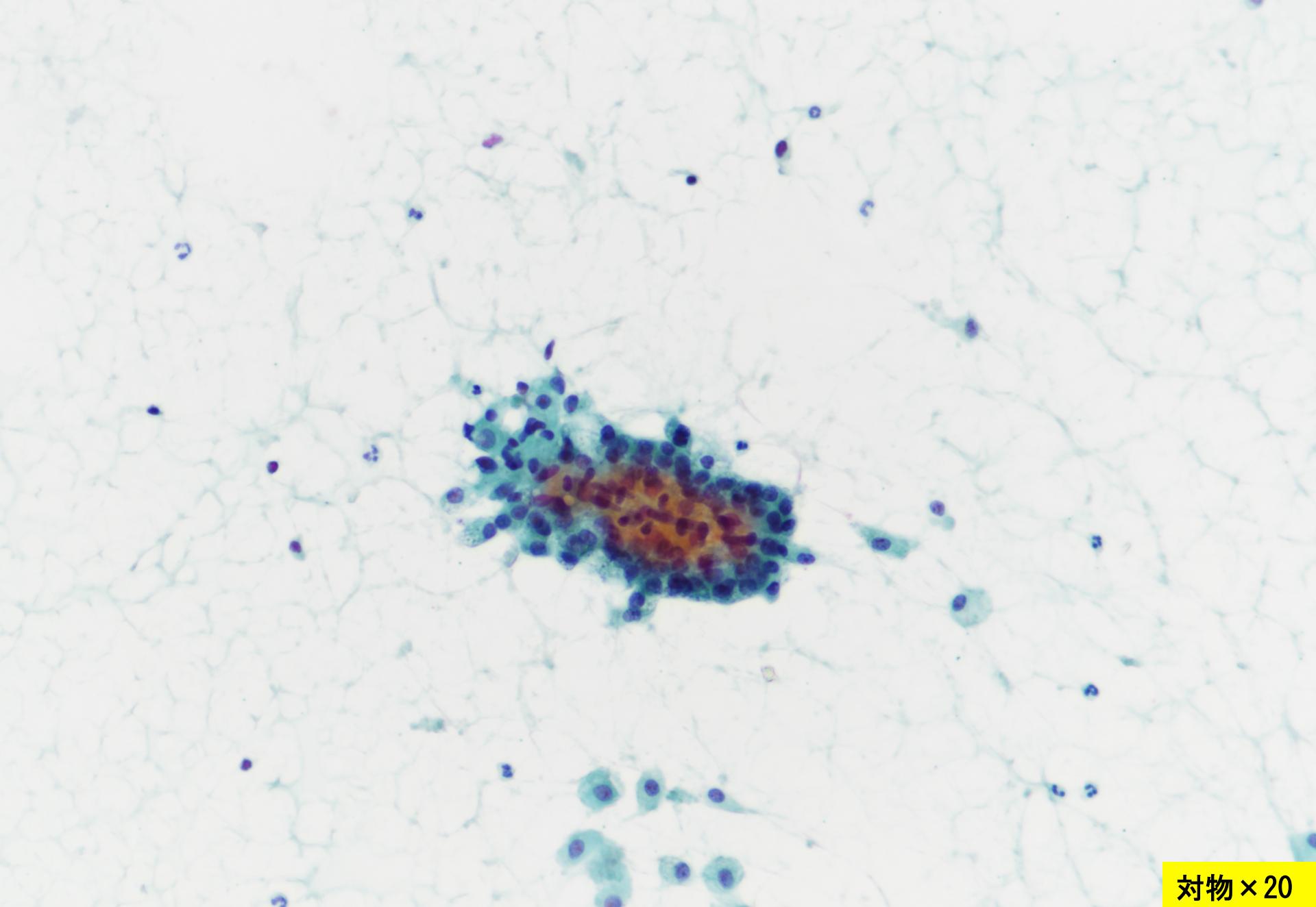
対物×20

出血性、囊胞性背景に結合の緩い細胞が孤立性から小集塊状に出現している。



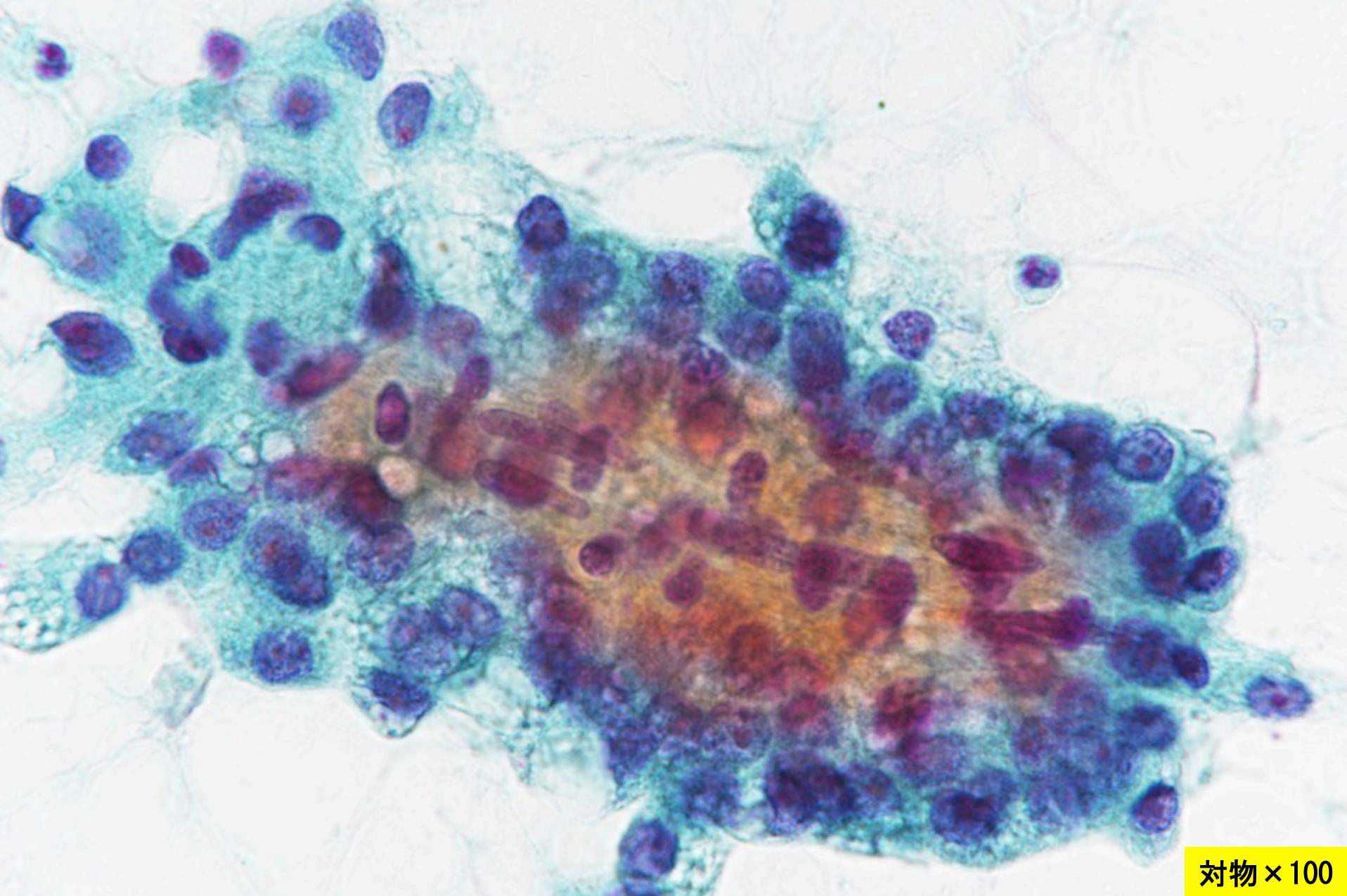
対物 × 100

細胞質はライトグリーン好染性で細顆粒状、泡沫状を呈し、類円形核に小型で明瞭な核小体を認める。



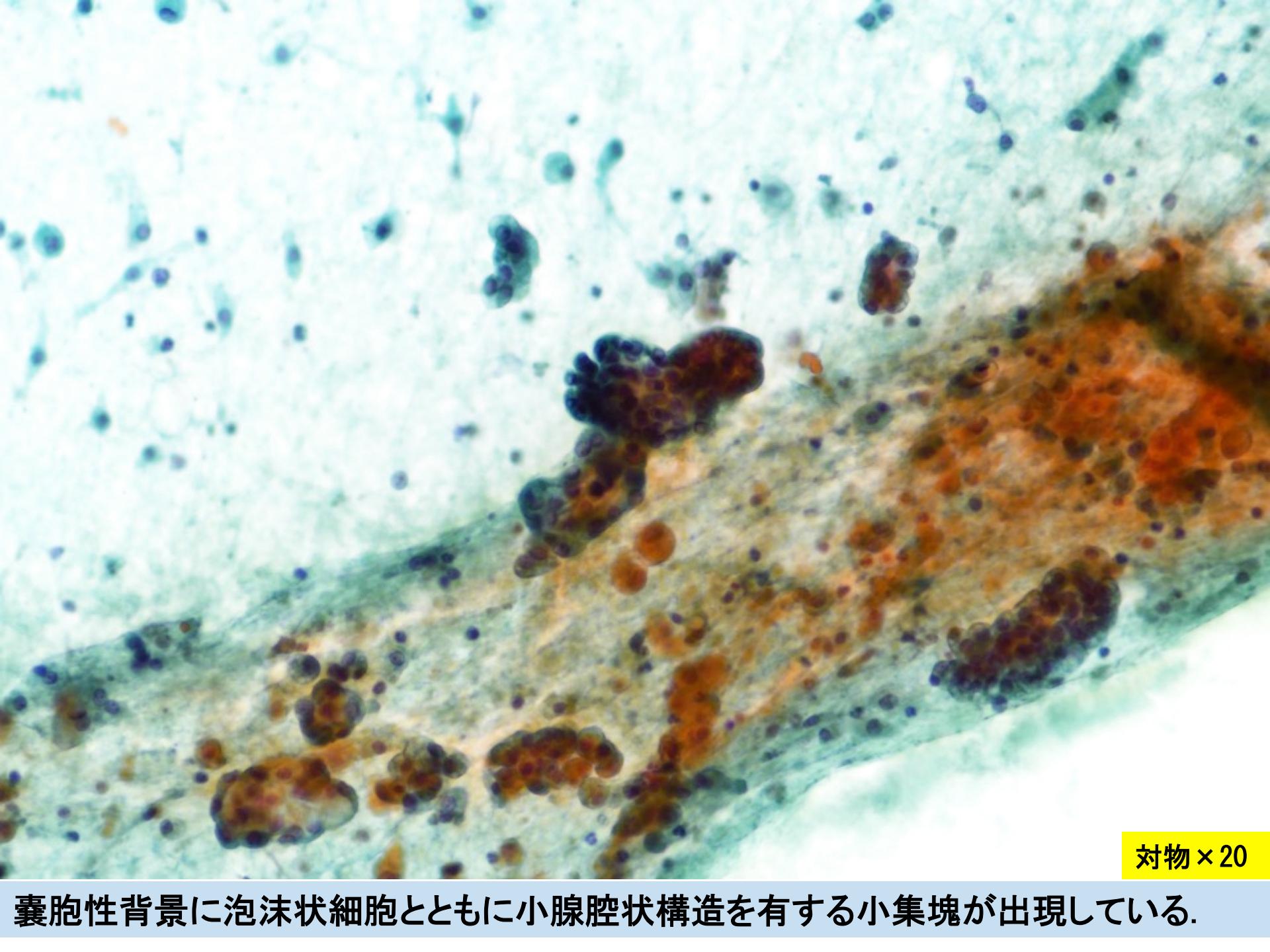
対物×20

泡沫状細胞とともに乳頭状集塊が出現している。



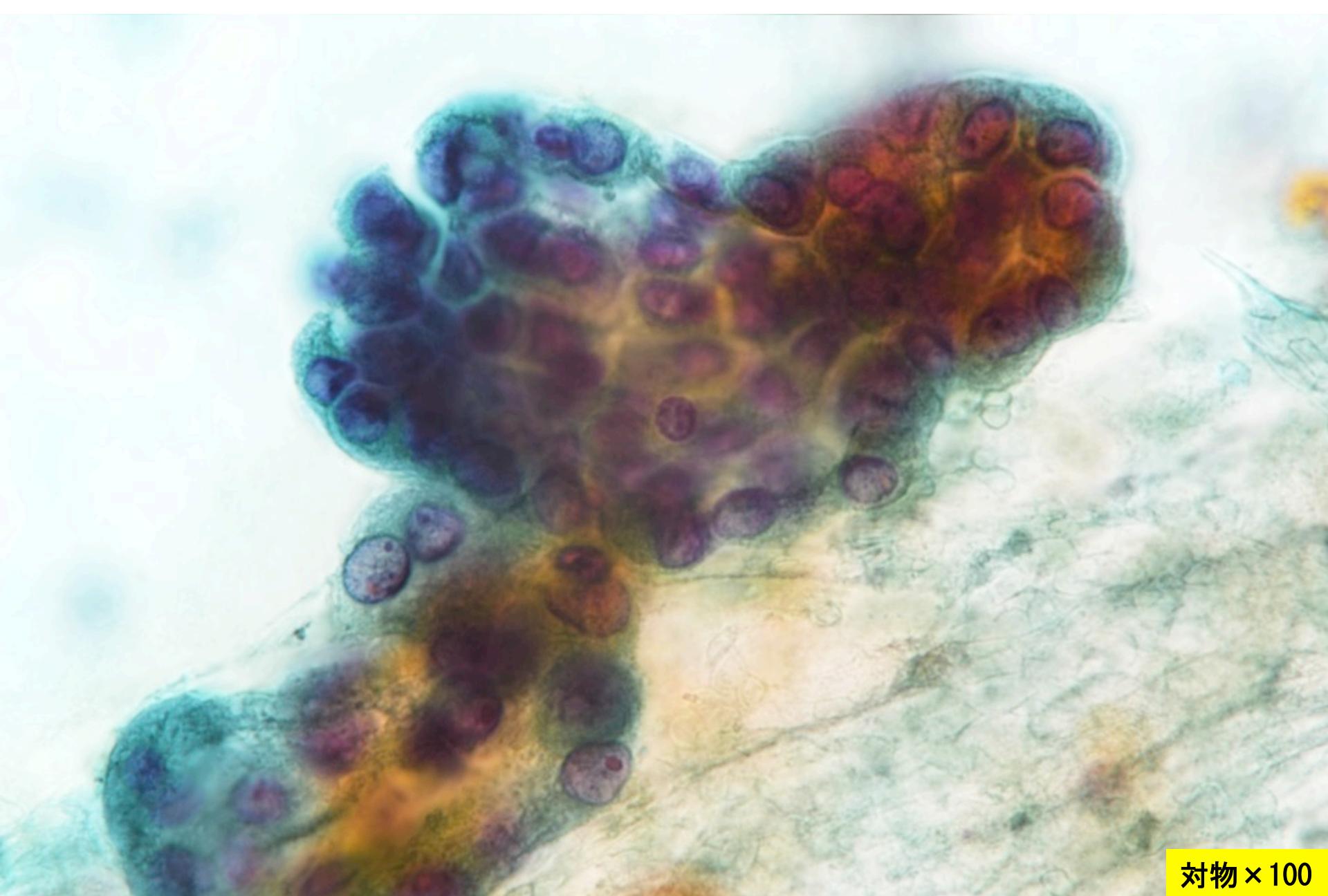
対物 × 100

血管を腫瘍細胞が取り囲む乳頭状構造を認める。



対物 × 20

囊胞性背景に泡沫状細胞とともに小腺腔状構造を有する小集塊が出現している。



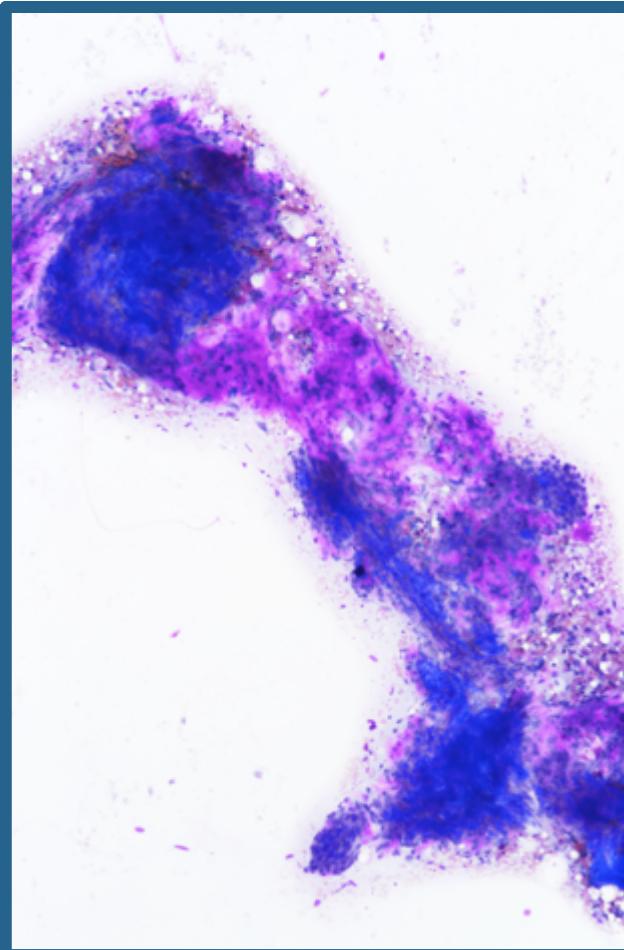
対物 × 100

厚みのある集塊には小腺腔を認める。

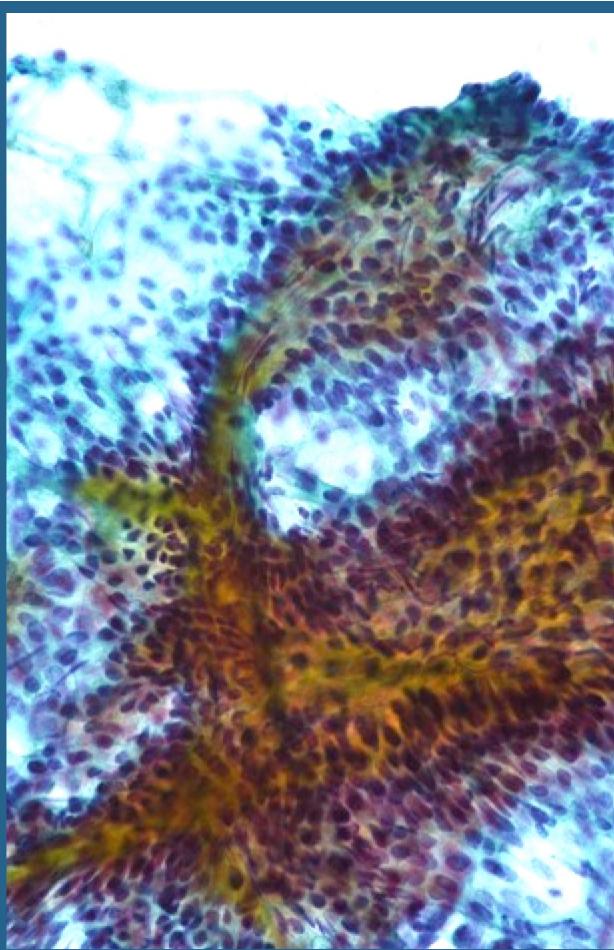
鑑別を要する良性腫瘍

- 多型腺腫
 - ワルチン腫瘍
 - オンコサイトーマ
 - 基底細胞腺腫
 - 囊胞腺腫
 - 導管内乳頭腫
- など

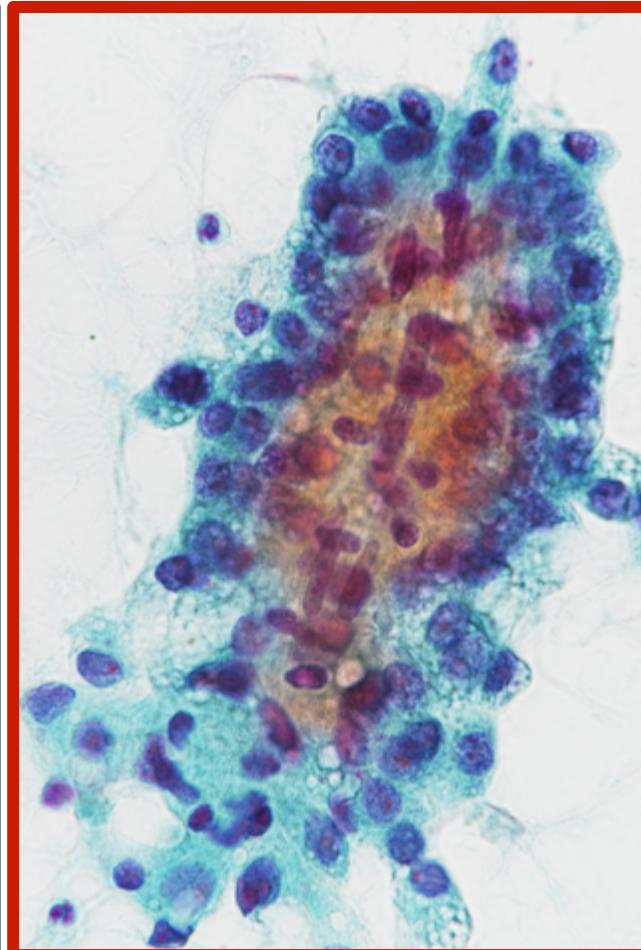
多形腺腫との鑑別



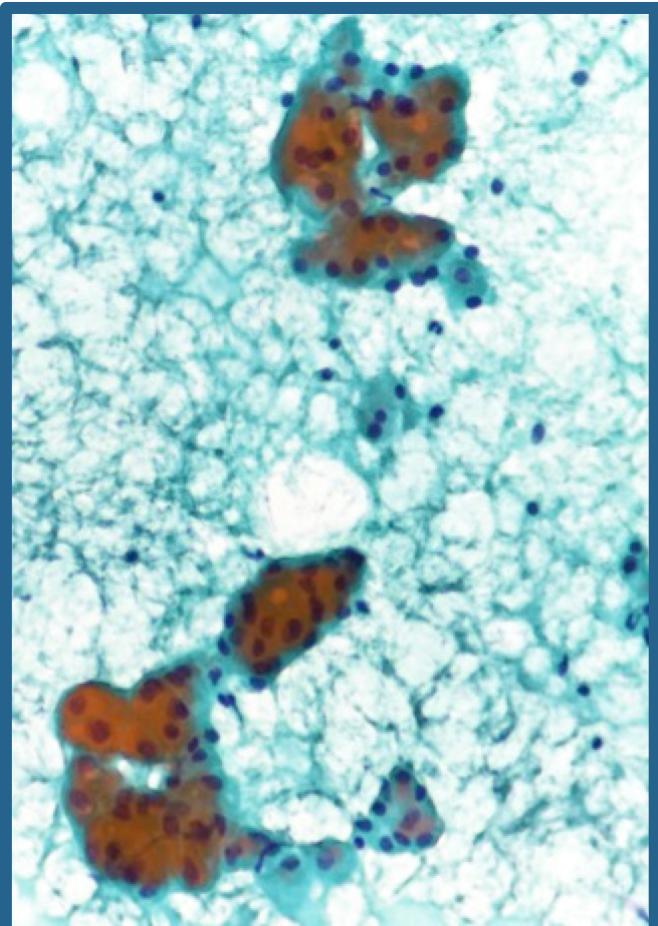
多形腺腫



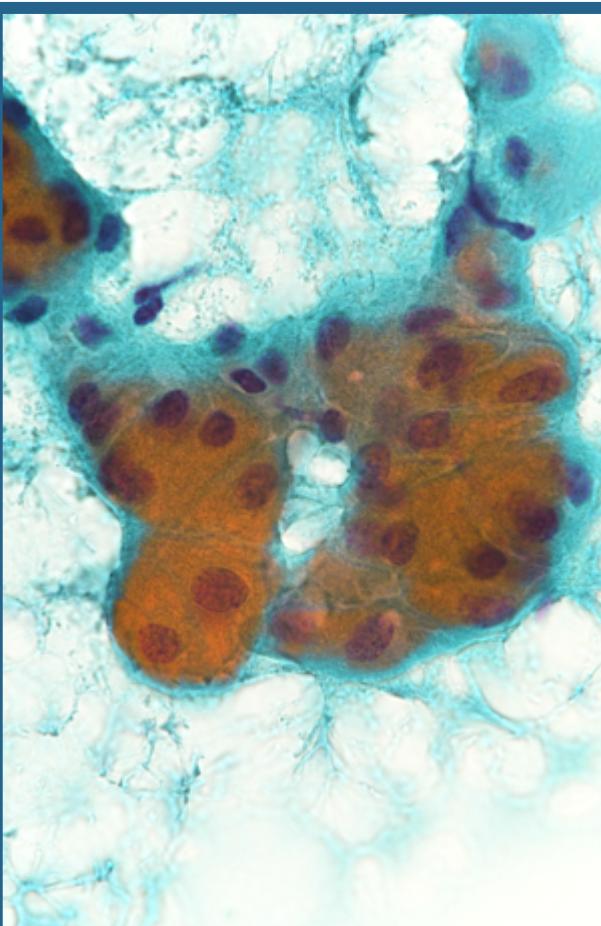
腺房細胞癌



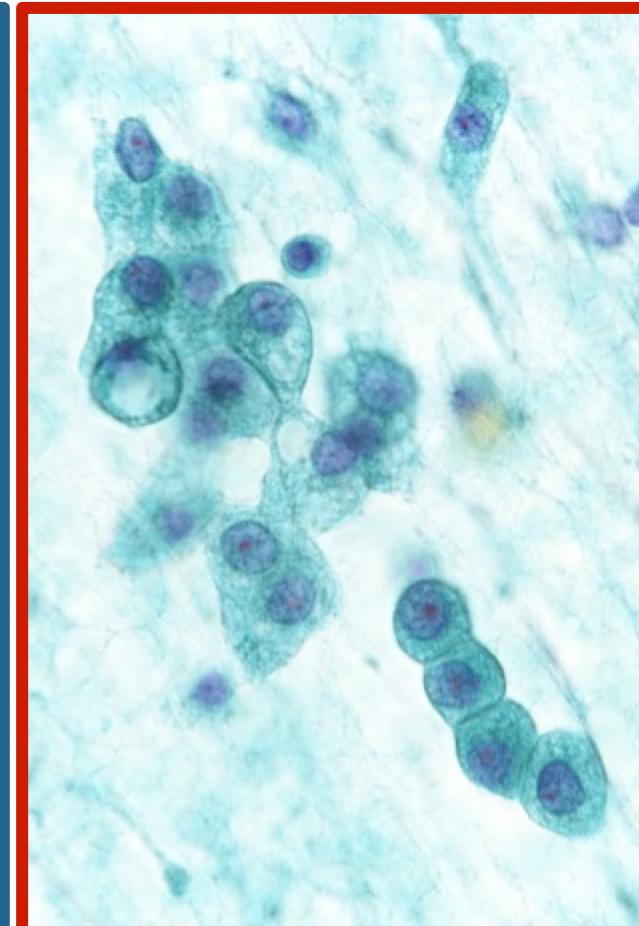
ワルチン腫瘍との鑑別



ワルチン腫瘍



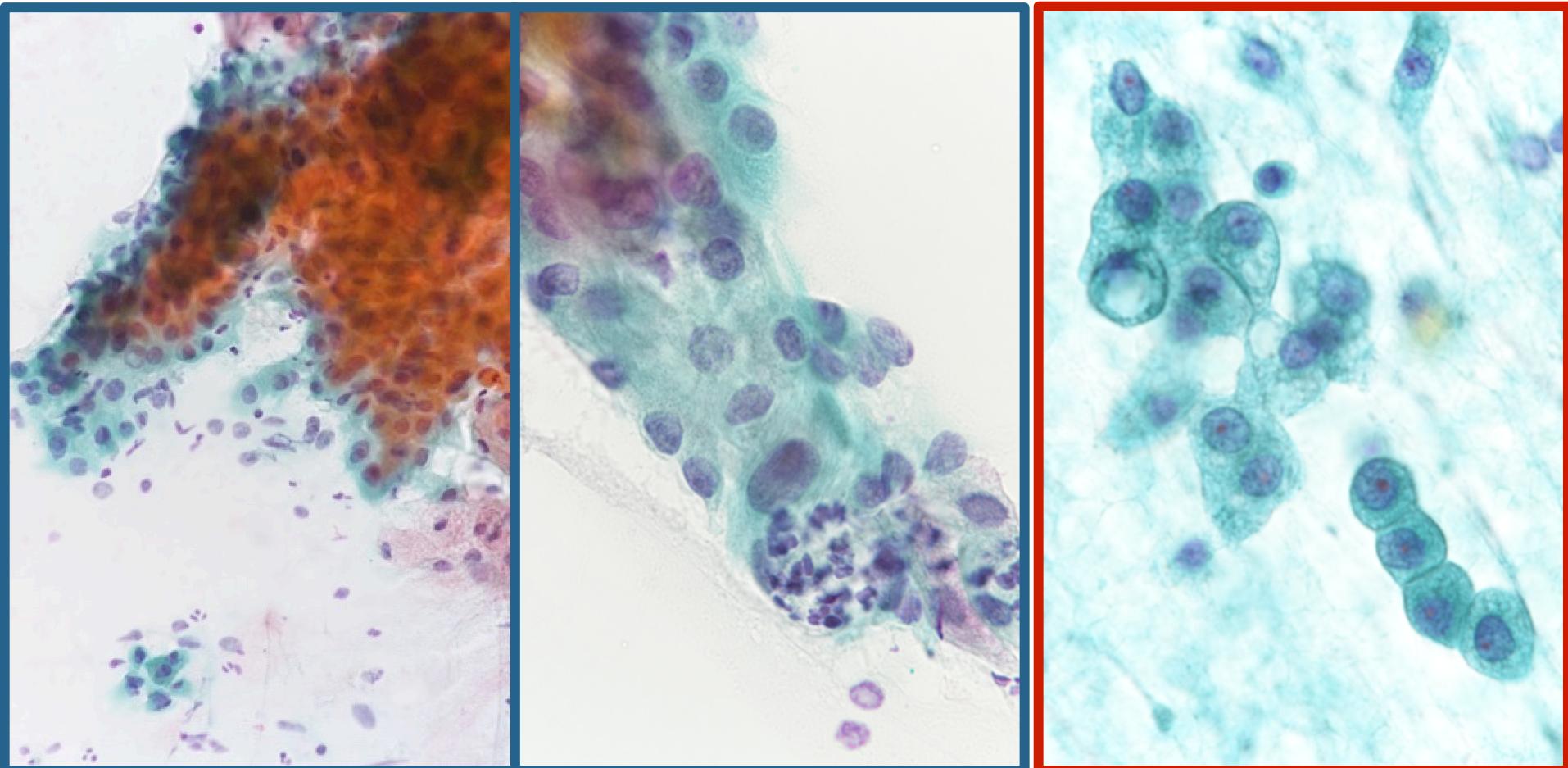
腺房細胞癌



鑑別を要する悪性腫瘍

- 粘表皮癌
 - 腺様囊胞癌
 - ▶ 唾液腺導管癌
 - ▶ 多型低悪性度腺癌
 - ▶ 低悪性度篩状囊胞癌
 - ▶ 腺癌NOS
- など

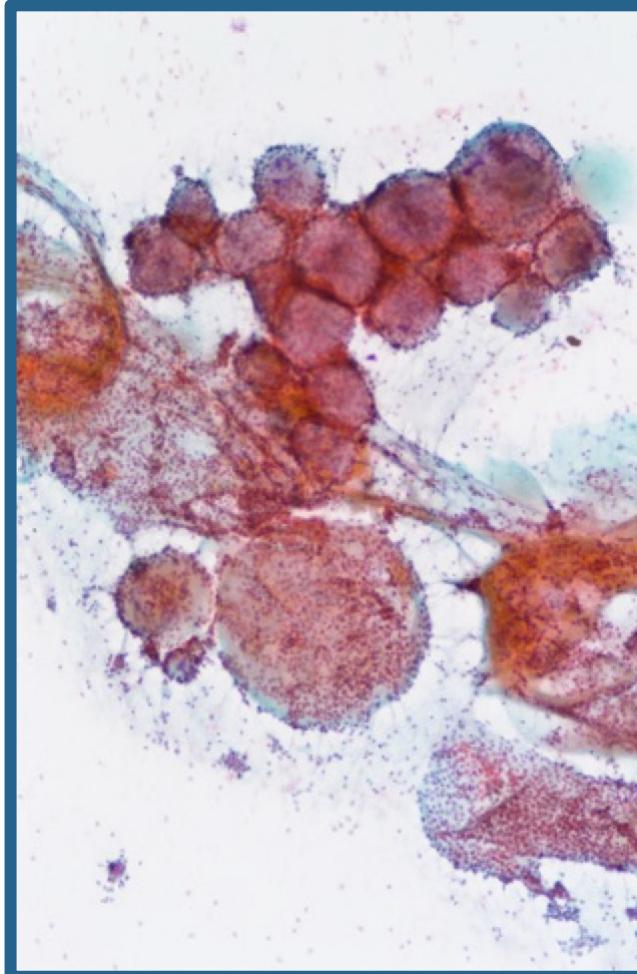
粘表皮癌との鑑別



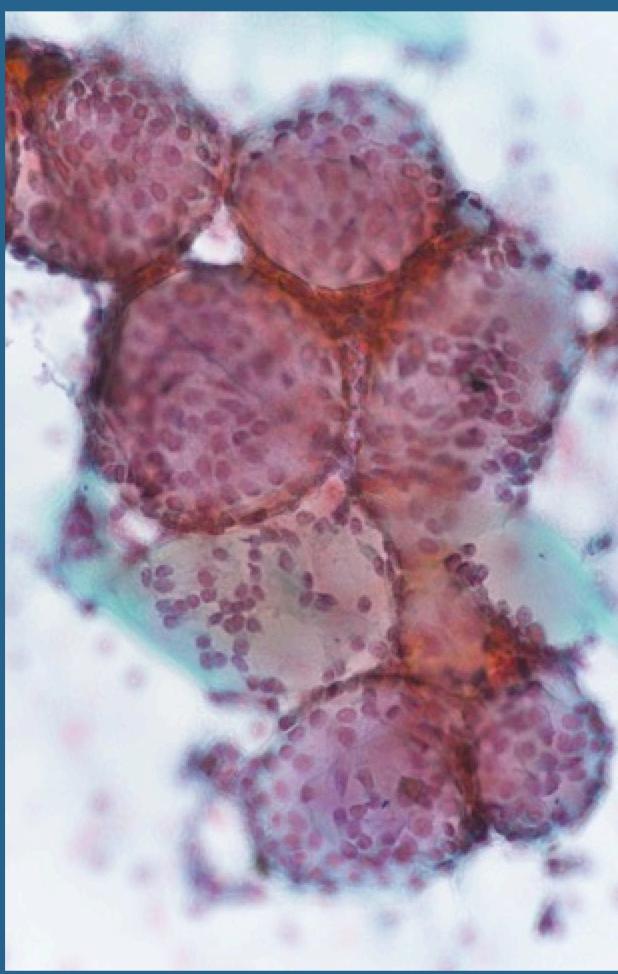
粘表皮癌

腺房細胞癌

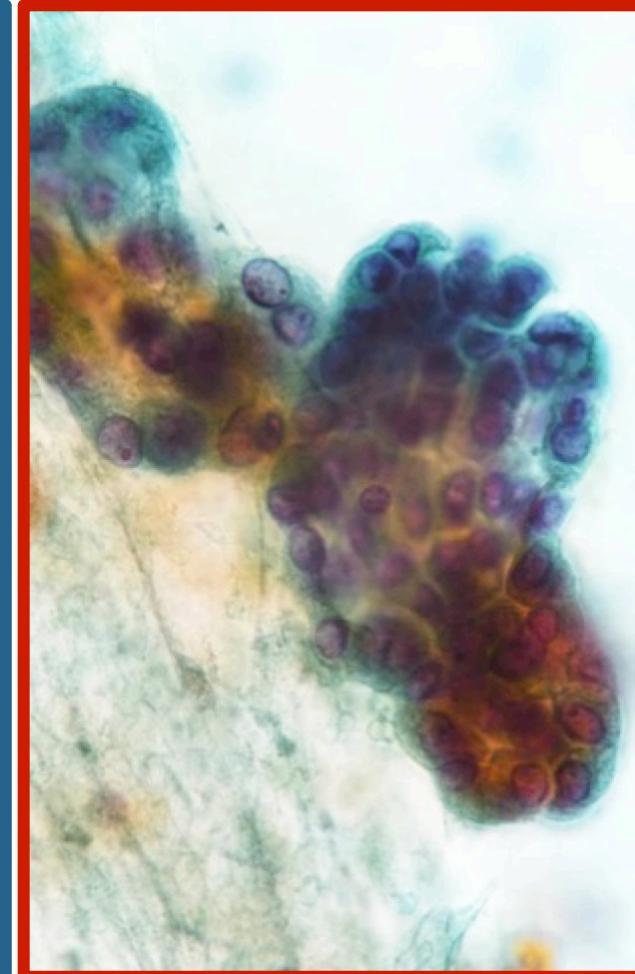
腺様囊胞癌との鑑別



腺様囊胞癌



腺房細胞癌



乳腺相似分泌癌

(mammary analogue secretory carcinoma)

- ETV6–NTRK3融合遺伝子を有する唾液腺から発生する低悪性度腫瘍である。
- 乳腺分泌癌の組織類似性があるため**乳腺相似分泌癌**と命名された。
- 従来、唾液腺腺房細胞癌の乳頭型、微小囊胞型、濾胞型または囊胞癌と診断されてきたものの多くに**ETV6–NTRK3融合遺伝子**が証明され**乳腺相似分泌癌**と診断される方向にある。

乳腺相似分泌癌

(mammary analogue secretory carcinoma)

組織学的・細胞学的所見

乳頭囊胞状, 濾胞状, 微小囊胞状など多彩な像を呈し増殖する。腫瘍細胞は小から中型均一で, しばしば細胞質内に多数の微細な空胞を有する空胞型細胞を認める。

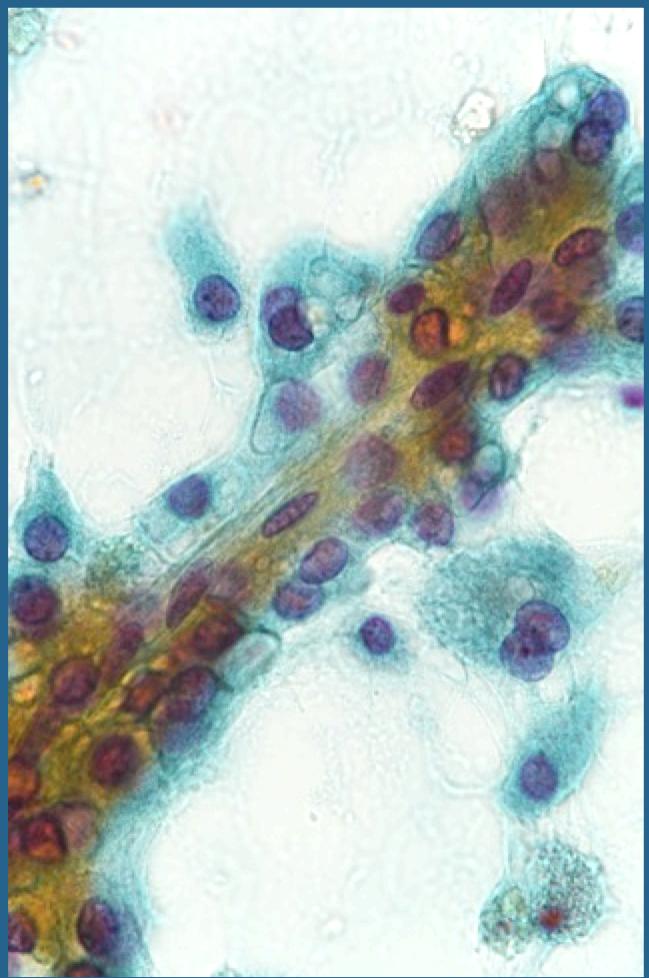
免疫組織化学的特徴

mammaglobin, S-100蛋白, vimentin, STAT5a	陽性
α -amylase	陰性

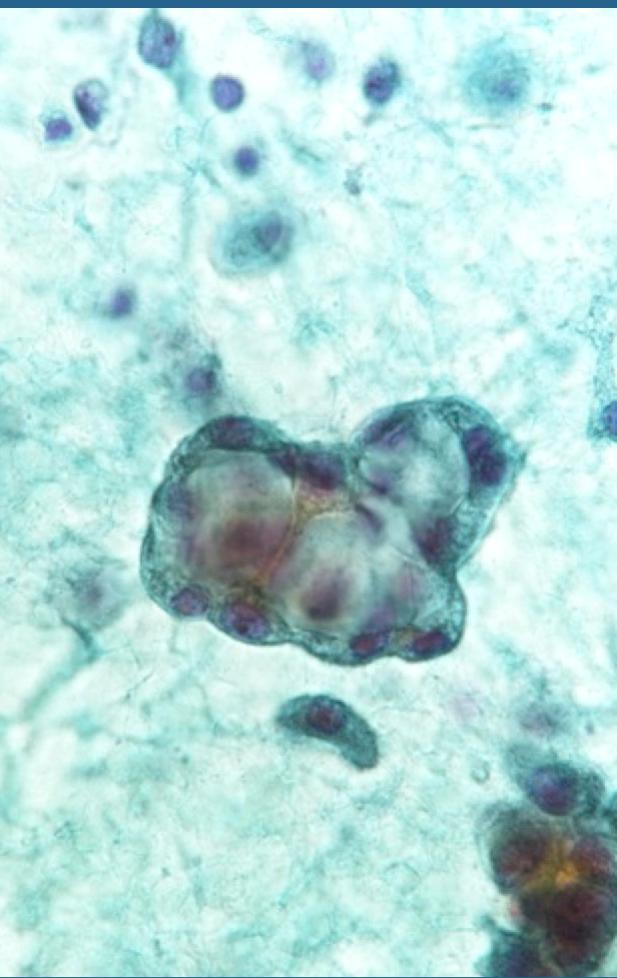
遺伝子検査

ETV6-NTRK3遺伝子融合がRT-PCR法, direct sequence法, FISH法にて確認される。

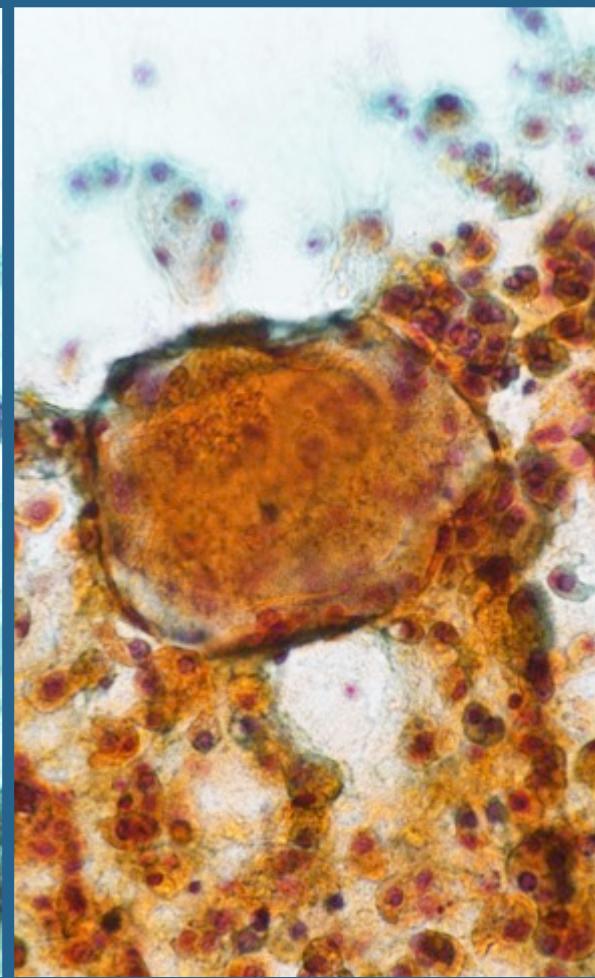
乳腺相似分泌癌に類似する腺房細胞癌の組織型



乳頭囊胞型



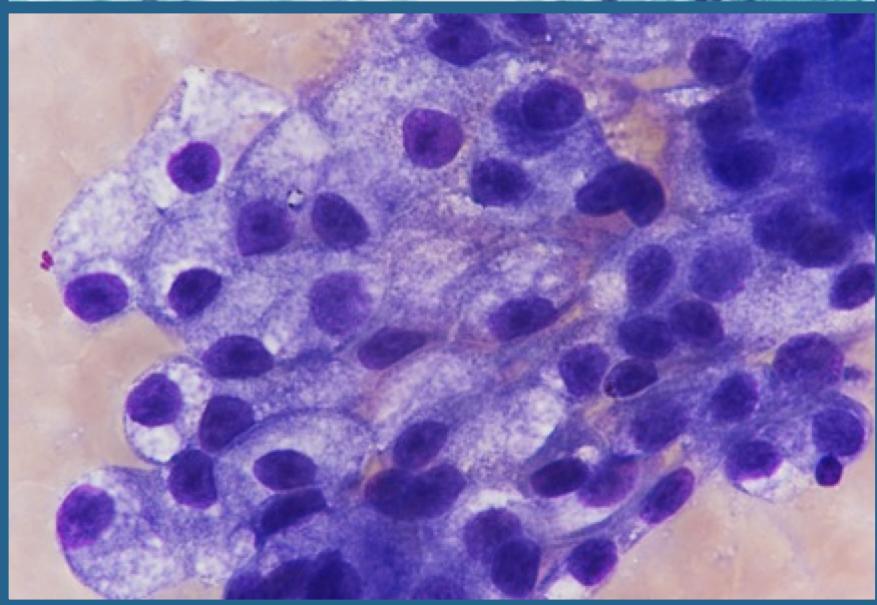
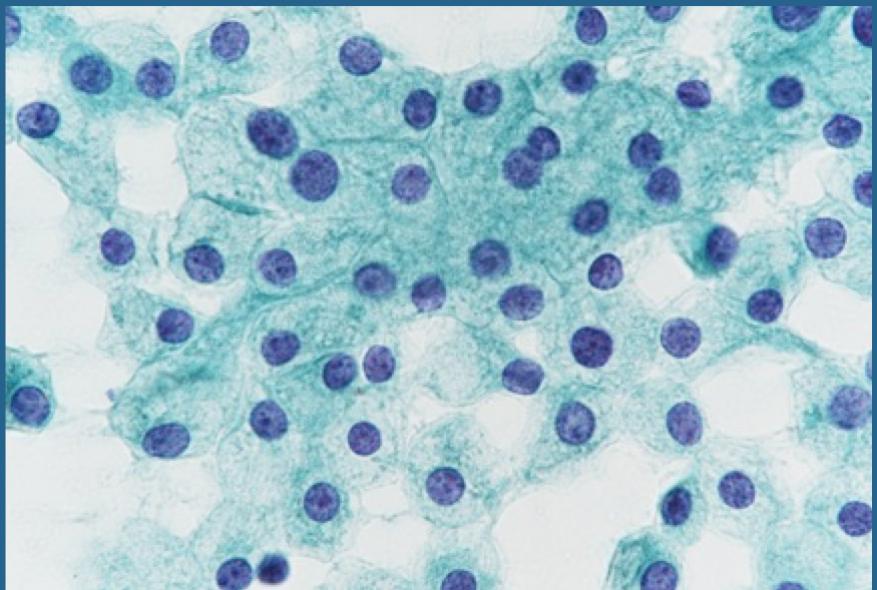
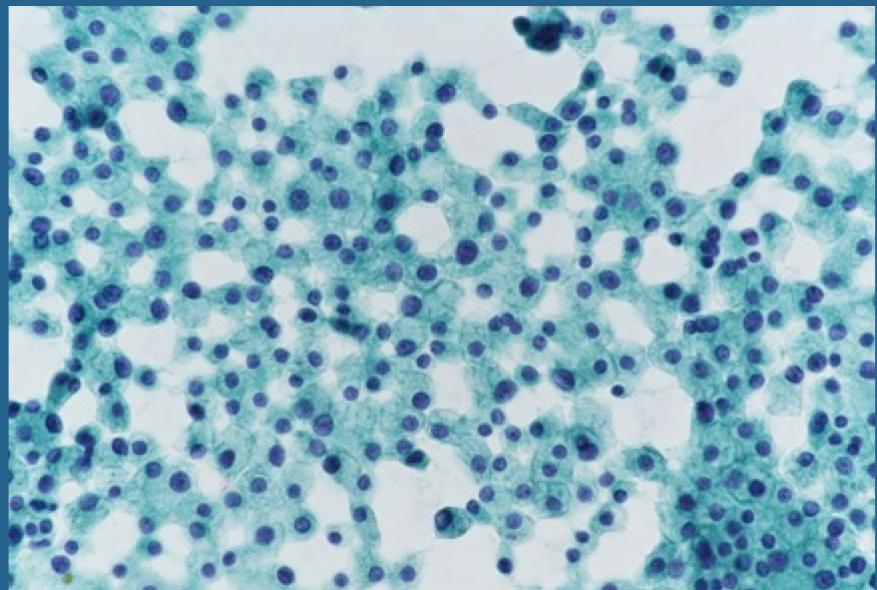
微小囊胞型



濾胞型

腺房細胞癌の典型的な細胞像が認められない場合、乳腺相似分泌癌を鑑別に入れ遺伝子検査を行うことにより正確な診断が可能になると考える。

腺房細胞癌 充実型



細胞所見

- 正常腺房細胞に類似する腫瘍細胞が単調に出現。
- 細胞質**：細顆粒状からレース状で細胞質にチモーゲン顆粒を有する。
- 核**：小から中型で纖細なクロマチンパターンを呈する。核間距離は不均等であるが、顕著な核形不整は認めない。

まとめ

1. 腺房細胞癌には様々な増殖形態があるが、典型像を再認識することは腺房細胞癌を診断する上で重要となる。
2. 乳腺相似分泌癌を疑う所見を認めた場合は遺伝子検査を行うことにより正確な診断が可能となる。